

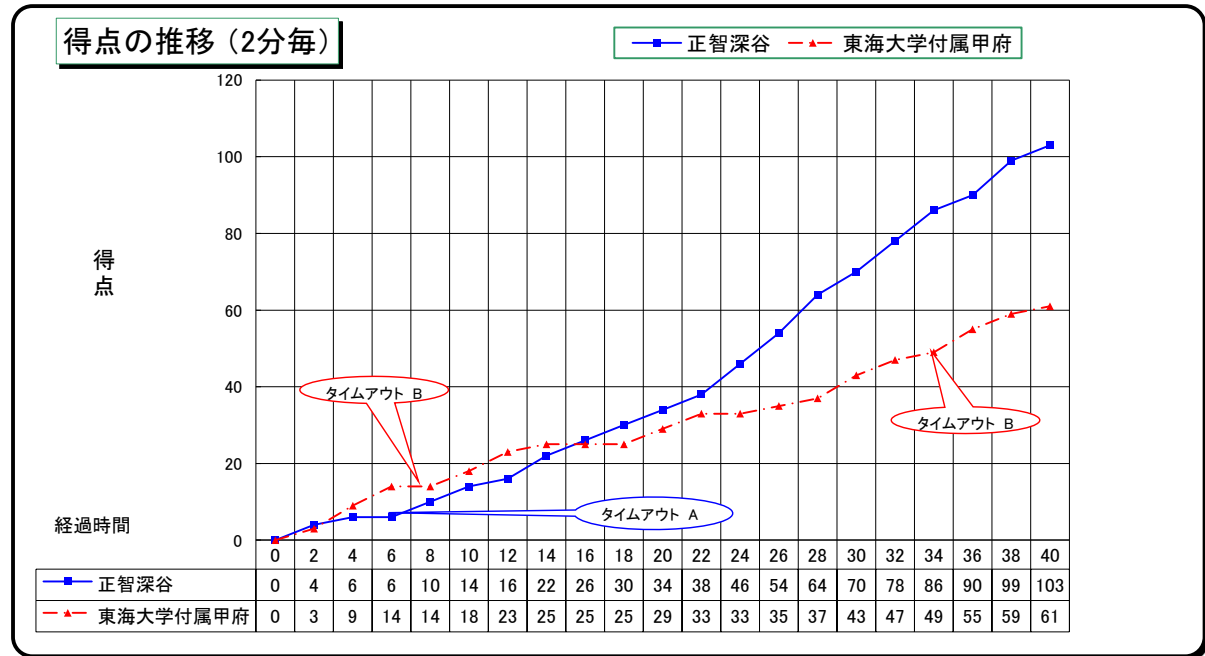
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第4試合 13:30～													
<チームA> 正智深谷 埼玉		103 { <table border="0"> <tr><td>14</td><td>1Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>2Q</td><td>11</td></tr> <tr><td>36</td><td>3Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>33</td><td>4Q</td><td>18</td></tr> </table> } 61		14	1Q	18	20	2Q	11	36	3Q	14	33	4Q	18	<チームB> 東海大学付属甲府 山梨	
14	1Q	18															
20	2Q	11															
36	3Q	14															
33	4Q	18															
主審: 中山 克則(茨城) 副審: 佐藤 純(茨城)																	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	板垣 優					
◎	5	小森 風貴	8		4		
◎	6	北村 悠樹	21	1	9		2
◎	7	角田 憲信	12		5	2	3
◎	8	中島 修平	2		1		1
○	9	川口 颯太	6		3		1
○	10	田中 洋斗	8		4		1
○	11	木村 優太	6		3		1
◎	12	田中 翔真	8		3	2	1
○	13	中里 直人					
○	14	野元 啓太郎	8		4		2
○	15	常田 耕平	5		2	1	2
○	16	山口 大成	8		4		2
○	17	中村 吏	6		3		
○	18	増田 英寿	5		2	1	
コーチ 成田 靖							
合計			103	1	47	6	16

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	大原 拓真					1
	5	堤 俊介					
○	6	加藤 恭介	8		4		1
◎	7	小山 優也	2			2	
○	8	吉田 涼	13	3	1	2	2
◎	9	関上 悠星	2			2	4
○	10	田邊 柗一朗	6		3		2
○	11	杉本 達也					
○	12	森田 幸喜	1			1	
○	13	小山 祥弥					
◎	14	高木 蓮	17		6	5	2
○	15	数井 貴志	2		1		
○	16	佐々木 凌	2		1		
	17	太田 恭介					
◎	18	清水 悠仁	8		4		
コーチ 三井 岳人							
合計			61	3	20	12	12

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 荻谷 大佑

正智深谷(以下正智)対東海大学付属甲府(以下東海甲府)の対戦。
 第1P, 正智はオールコートマンツーマン, 対する甲府は1-2-1オールコートゾーンプレスで試合開始。正智はゾーンプレスに対し, 早いパスを繋いでゾーンを攻略。甲府は早いパス回しから⑥加藤のジャンプシュート, ⑧吉田の3pで攻撃のリズムに乗る。正智は⑥北村のオフenseリバウンドからの得点でくらいにつき, 14-18で第1P終了。
 第2P, 開始早々, 甲府はスティールからのスピードある速攻で連続得点。ディフェンスをマンツーマンに変えた甲府に対し, 正智も積極的なドライブインから得点に繋げ流れを取り戻す。また, 代わった正智⑩中村のディフェンスリバウンドやインサイドプレーの活躍で逆転に成功。甲府は激しいシュートチェックで終盤得点が止まるも, ⑩清水の3pが最後に決まり34-29とし後半開始。
 第3P, 両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで後半開始。序盤, 正智は⑦角田のインサイドプレーや⑩田中のジャンプシュートが決まり試合の主導権を握る。甲府が残り6分のところでタイムアウトをとるが, 直後に甲府④大原が頭を床にうち流血し退場。すると正智⑥北村の連続3pやターンオーバーからの得点をゆるし, 流れを取り戻すことができないまま点差を広げられ, 70-43で第3P終了。
 第4P, 正智は⑥北村, ⑦角田で高さのミスマッチを活かし得点を重ねる。対する甲府は1-2-1オールコートゾーンプレスをしかけるが, 正智の早いパス展開で崩されてしまう。正智は代わった⑩中村⑩増田も高さで主導権を握る。高さのない甲府は早いゲーム展開で反撃するもゴール下で止められてしまう。④大原が退場し, 流れを変えることができないまま103-61で試合終了。正智が勝利し2回戦へ進んだ。